

はじめに

平成14年4月に当町は、東海地震に関する「地震防災対策強化地域」に追加指定されました。近い将来かなり高い確率で起こると想定される海洋型（プレート境界型）の東海地震や、内陸型地震で30年以内に発生する確率が最も高い糸魚川—静岡構造線断層帯の直下型地震をはじめ、豪雨等による土砂災害など自然災害への防災対策は、行政や防災機関だけでなく、各家庭や地域及び自主防災組織における日常対策や、災害発生直前から発生直後の適切な判断と行動が非常に重要です。

自分たちの住んでいる地域が災害に対してどのような弱点があるのか知っていただき、被害を少しでも減らすため、このガイドブックを身近なところに備えていただくとともに、「災害につよいまちづくり」を目指して、「自分たちのまちは自分たちで守る」「だれにだって かならず できることがある」を合い言葉に、地域で協力しあった防災対策にご活用いただければ幸いです。

平成18年3月

富士見町長 矢嶋 民雄

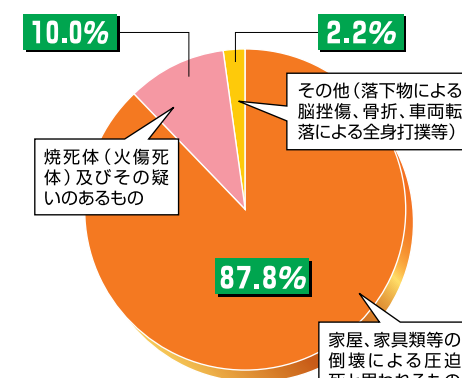
1 阪神・淡路大震災、新潟県中越地震を忘れない

みなさんの記憶の中で、2つの地震は、どのようなかたちで残っていますか。ほとんど薄れてしまっていますか？ それとも、あのとき見た映像や、被災者の声、報道記事などを、今でも覚えていますか？
これを機会に、もう一度思い出してみてください。そして、イメージしてみましょう。あのような災害が、もし、私たちのまちに起きたとしたら…。

| 地震名 | 地震発生日 | マグニチュード | 最大震度 | 死者(人) | 行方不明(人) | 負傷者(人) | 全壊(棟) | 半壊(棟) |
|-------------------|------------|---------|------|-------|---------|--------|---------|---------|
| 阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震) | 平成7.1.17 | 7.3 | 7 | 6,433 | 3 | 43,792 | 104,906 | 274,180 |
| 新潟県中越地震 | 平成16.10.23 | 6.8 | 7 | 59 | 0 | 4,805 | 3,175 | 13,772 |

(注) 数値は、いずれも消防庁発表より(阪神・淡路大震災については平成15年12月、新潟県中越地震については平成18年2月)

阪神・淡路大震災における死者の発生状況(兵庫・大阪・京都)



(平成7年度版「警察白書」より)

目次

地震編

- ① 阪神・淡路大震災、新潟県中越地震を忘れない……………1
- ② 富士見町を取り巻く地震環境……………2
- ③ 地震から身を守る(その1 場所編)……………4
- ④ 地震から身を守る(その2 時間編)……………6
- ⑤ 避難のポイント……………7
- ⑥ わが家の安全対策……………8
- ⑦ 月に1度は家庭で防災会議を……………10

火災編

- ① 身につけよう! 火災を出さない生活習慣……………12
- ② 火災発生! そのときどうする?……………14
- ③ 火元別初期消火のポイント……………15

風水害編

- ① 気象状況に注意し、早めの対応を……………16
- ② 土砂災害に気をつけよう……………18

自主防災編

- ① 地域の自主防災活動……………20
- ② 災害時要援護者にやさしいまちづくり……………22
- ③ 知っておきたい応急手当……………24
- ④ 非常時に役に立つもの……………25

防災マップ編

- 防災マップ(その1)……………26
- (その2)……………28
- (その3)……………30
- (その4)……………32

阪神・淡路大震災の死者の9割近くが、家屋の倒壊等の下敷きになったことによる窒息死・圧死でした。新潟県中越地震でも、耐震性の低い建物の倒壊が問題となりました。



飛び出すマンホール、倒れる電信柱、持ち上がる水路…災害は、まちの状況を一変させます。